

ペットボトルロケットづくり!

ペットボトルロケットづくり開催日の6月15日(土)は、天気曇り。ちょっと風が強く、ロケットを飛ばすにはあいにくの天候となりましたが、申し込んだお子さん全員の参加となりました。

本事業は、北海道電力岩見沢支店様と共催しており、講師として3名の方がかけつけてくださり、子どもたち一人ひとりに熱心な指導をされました。

参加した子どもたちは、低学年児童の割合が高く、保護者の皆さんのお手伝いを得ながら、2時間かけて色とりどりのペットボトルロケットを作り、見事に遠くまでよく飛ぶロケットを完成させました。



製作を始める前に、ペットボトルロケットが飛ぶ理由の説明をしました。空気の圧縮・水の噴出し・反作用など、難しい言葉を使いながらの説明でしたが、しっかりと聞いてくれました。

ロケットづくりは、ペットボトルを切るところからはじめました。慣れない「ペットボトル用はさみ」を使うので、みんな苦労していましたが、だんだんと上手になりました。ダミータンクを切りだし、次に、ロケットの頭の部分、ゴム製トップをまっすぐにとりつける作業などは丁寧に行っていました。



作業は順調にすすみ、いよいよ最大の難関、スカートと呼ばれる部分に4枚の羽の取り付けです。これがなかなかの力仕事で、普通のホチキスより大きなホチキスを使って、合計16ヶ所も止めなくてはなりません。付き添ってこられた保護者のみなさんも汗だくでした。

最後の仕上げは、羽などの保護もかねて、ビニールテープでの飾りつけです。胴体部分に自分の名前や模様をつけたりして、すてきなロケットが仕上がりました。

外に出て発射台にセットし、打ち上げました。空気を入れる回数は20回にして飛ばしました。遠くまで飛んで行き、飛ばすたびに、「ワー」と、子どもたちも保護者の方々も歓声があがりました。



今回のいわチャレは

参加者：13人(小学生)

指導者：北海道電力岩見沢支店 金子様 他2名

岩見沢郷土科学館管理指導員 富岡 哲也

藤森 正男

みなさん、ありがとうございました